Mimaki

Textile Jet Tx3-1600

日常のお手入れマニュアル

お願い

インクジェットプリンタは非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特に、インクを吐出するヘッドのノズル面はわずかなホコリや紙粉の付着でも、吐出に影響を及ぼし、正常な作図結果を得られなくなる可能性があります。インクジェットプリンタの精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的に、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

目　次

普段のお手入れ *2*
洗浄水タンク内のクリーニング *3*
作図中に、布に点々とシミが出てきたら *5*
廃インクタンクのインクが溜まったら *8*
ミストファンフィルターのお手入れ *9*
ステーション内部のクリーニング *10*
　ステーションカバーの開閉について 11
　ワイパの定期的なお手入れ 11
　ワイパ軸クリーニングのメッセージを表示したら[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ] 14
　ワイパ交換のメッセージを表示したら[ﾜｲﾊﾟｺｳｶﾝ] 16
　キャリッジ下面のクリーニング 18
　フラッシングボックスとブロワフィルターのクリーニング 19
Ｙメインガイドのクリーニング[ﾒｲﾝｶﾞｲﾄﾞ] *23*
ANRS チェックメディアの交換[ANRﾕﾆｯﾄ] *24*
搬送ベルトのクリーニング[ﾍﾞﾙﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ] *28*

株式会社
ミマキエンジニアリング

D201100

普段のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

長期間使用しない場合は

注 意

★ 電源を必ず切ってください。(取扱説明書　P.2-55参照)
★ 循環式でベルト洗浄をする場合、洗浄タンク内の汚れた洗浄水を新しい水と交換し、配管内を洗浄した上、電源をオフにしてください。

お手入れ上のご注意

注 意

★ 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。
★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
★ お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタメカニズムが故障する恐れがあります。

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、水または水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってから拭き取ってください。

洗浄水タンク内のクリーニング

洗浄水タンク内の水、フィルターのクリーニングは、こまめに行ってください。

洗浄水は一定時間使用すると、自然蒸発などにより、徐々に減少していきます。洗浄水が少なくなって来た場合は、下記のワーニングメッセージを表示します。

センジョウスイ　タンク センジョウスイヲカクニン

洗浄水タンクの水交換

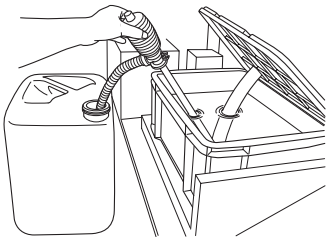
循環式でベルト洗浄をしている場合、毎日必ず洗浄水を交換してください。
汚れた水は、付属のハンドポンプを使用して、取りだしてください。
そして新しい水をタンクに入れてください。

注 意

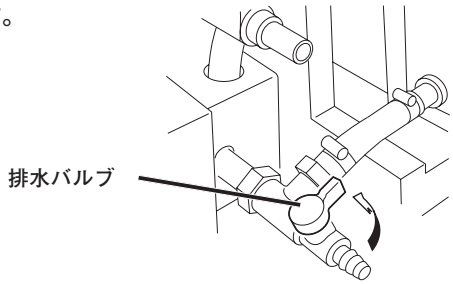
★ 循環式でベルト洗浄している場合、毎日洗浄水を交換してください。
★ 廃洗浄水は、使用している地域の条例に従って処分してください。

操作手順

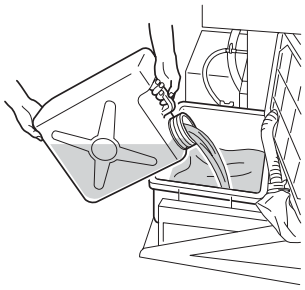
1. ハンドポンプで汚れた水を別のタンクに移します。



2. 排水バルブが締まっていることを確認します。



3. 洗浄液タンクに水を約２０リットル入れます。

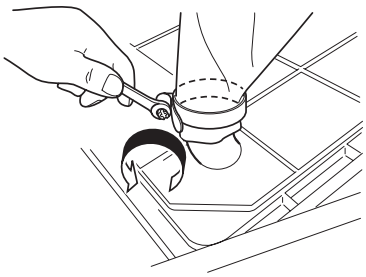


洗浄水フィルターの交換とクリーニング

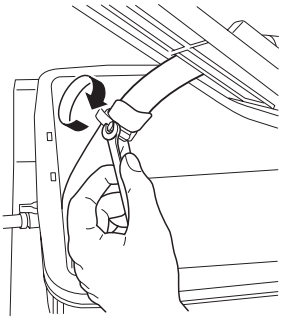
また、フィルターが目詰まりを起こしている場合、フィルターのクリーニングまたは交換を行ってください。一定時間使用すると、洗浄水フィルタ交換のワーニングメッセージを表示します。

センジョウスイ　タンク フィルタヲカクニンシテクダサイ

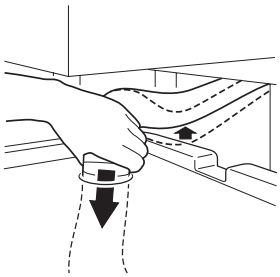
1. タンクを開け、固定ネジを緩めます。



2. 新しいフィルタに交換した後、固定ネジを締めます。



3. たるみのないように、ホースをタンク内に収めます。



4. ワーニングメッセージを表示している場合は、洗浄水フィルターのカウンターをリセットします。

「カウンターをリセットする」
取扱説明書 P.5-20 参照

作図中に、布に点々とシミが出てきたら

作図中に、布に点々とシミが出てきたら、洗浄水の拭き残しによるものです。ベルトワイパーユニットの交換または吸水ローラーをクリーニングしてください。

注 意

★ 下記の様な症状が出た場合、搬送ベルトの表面が凹凸になってます。この場合は速やかに地張り剤を塗り替える必要があります。
（取扱説明書P .5-4 参照）
●地張り剤塗布ムラ
●糸くず、大きなゴミがベルト洗浄をしていても取れない

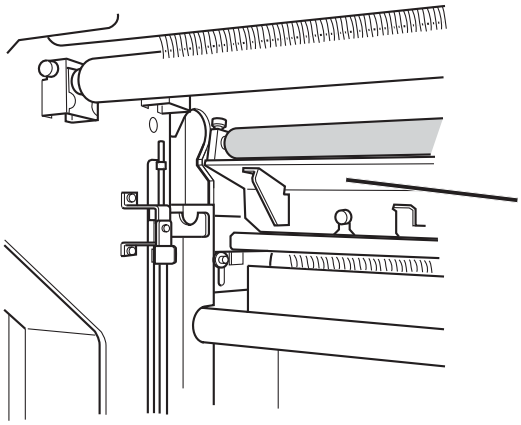
★ ゴム手袋を着用して、交換してください。

ベルトワイパーユニットの交換

作図中に、布に点々とシミが出てきたら、洗浄水の拭き残しによるものです。ベルトワイパーユニットを交換する必要があります。

注 意

★ ベルトワイパーユニットを交換する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。



吸水ローラーのクリーニング

ベルト洗浄しながら一定時間使用することで、吸水ローラーが洗浄水を吸収できなくなってきます。良質の作図品質を保つために、吸水ローラーのクリーニングを行ってください。

● 吸水ローラーのクリーニング目安時期を設定すると、クリーニング時期を気にせず作業をすることが出来ます。（取扱説明書「メンテナンス目安時期を設定する［ｶｳﾝﾀｰﾘﾐｯﾄ］」の設定 P.4-12 参照）

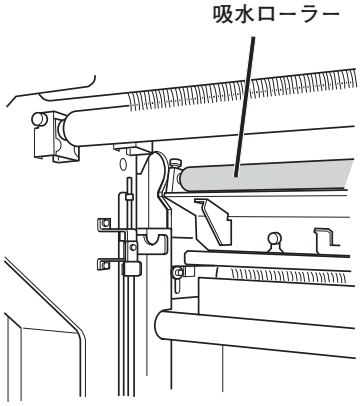
キュウスイローラー
ローラーヲカクニンシテクダサイ

操作手順

1. 本装置の電源をオフにします。

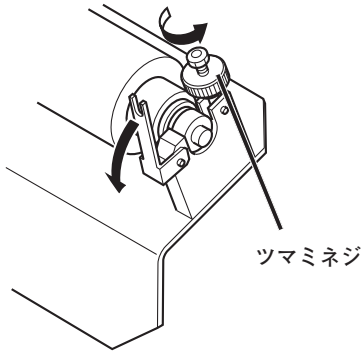
注意
★ 洗浄水で床が汚れないように、床にウェス等の布を敷いてから作業してください。

★ ゴム手袋を着用して、クリーニングしてください。



2. 吸水ローラー左右端にあるツマミネジをゆるめ、軸端のフタを開けます。

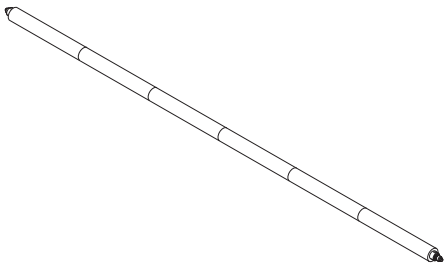
吸水ローラーは本装置背面中側にあります。



3. 吸水ローラーを本装置から外します。

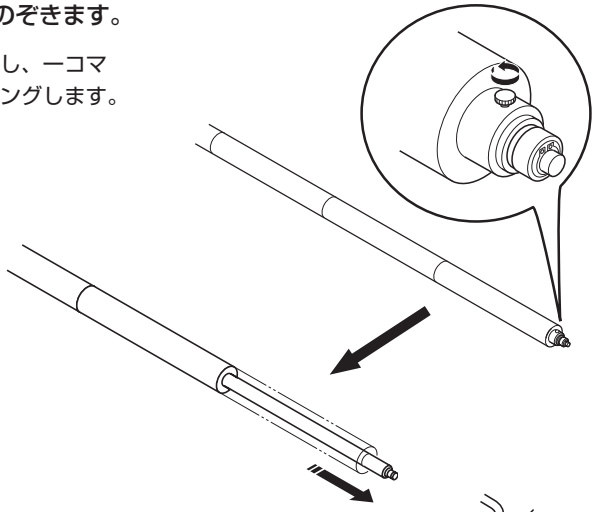
注意
★ 吸水ローラーを外すときは、２人以上で外してください。

● 作業の邪魔にならないように、繰り出しテンションバーがストッパーにかかっている場合は、ストッパーから外します。

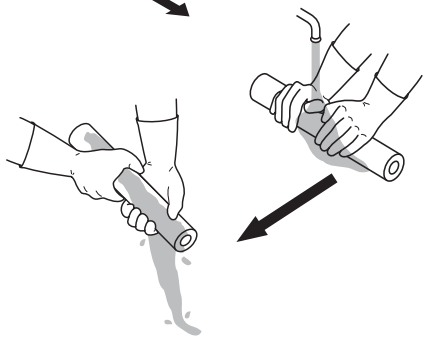


4. 吸水ローラーについた水を取りのぞきます。

a. 両端のツマミネジを外し、一コマずつ外して、クリーニングします。

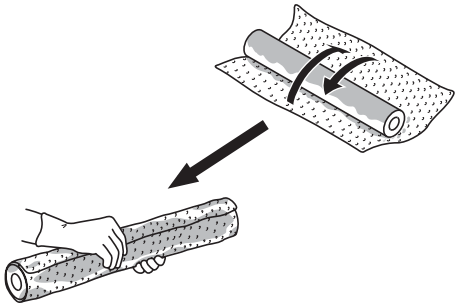


b. 洗浄水などに付け、ローラーに付着した汚れを落とします。



注意
★スポンジはねじらないようにしてください。

c. 汚れが落ちたら、ベンコットなどのウェスなどにくるみ、水を吸い取ります。



注意
★スポンジはねじらないようにしてください。

d. 良く乾かしてから元に戻します。

5. 吸水ローラーを元に戻します。

6. ワーニングメッセージを表示している場合は、吸水ローラーのカウンターをリセットします。

「カウンターをリセットする」
取扱説明書 P.5-20 参照

廃インクタンクのインクが溜まったら

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは、廃インクタンクに溜まります。
廃インクがたまったら、速やかに廃インクタンク内のインクを処分してください。

- 予備の廃インクタンクをお求めの場合は、お近くの販売店、弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。

★ インクを排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。

★ ゴム手袋を着用して、交換してください。

操作手順

1. 廃インクタンクからホースを引き抜きます。

注意

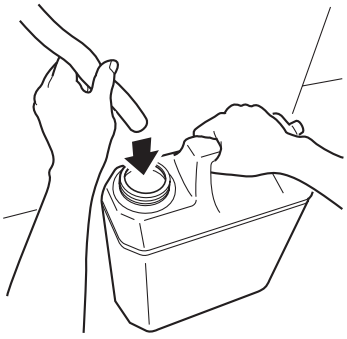
★ ホースを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、ホースの口をティッシュなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。

★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから廃インクタンクを交換してください。

2. 廃インクを別のポリエチレンタンクに移します。

★ 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

3. 空にした廃インクタンクを再度セットします。



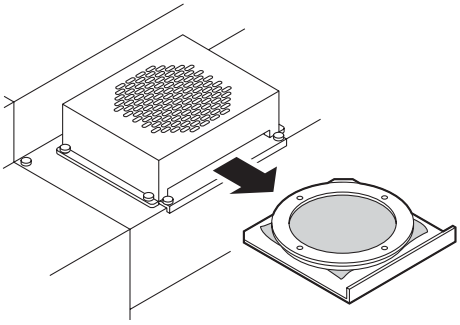
ミストファンフィルターのお手入れ

本装置の背面側には、左右 2 カ所にミストファンフィルターが付いています。
インクやホコリ付着によって目詰まりが始まっている場合は、ミストファンフィルターを交換してください。
交換したミストファンフィルターは水洗いし、再使用できます。

● ミストファンフィルターは別売品です。交換する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

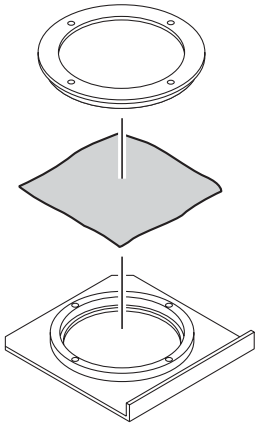
交換方法

1. 左右のミストファンフィルターユニットからフィルターホルダーを引き抜き、取り外します。

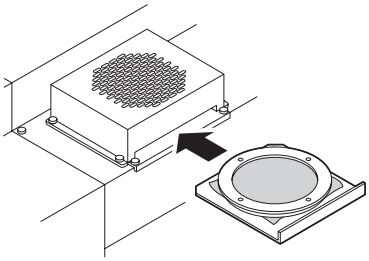


2. フィルターホルダーから古いフィルターを取り外し、新しいミストファンフィルターと交換します。

   フィルターは、全周をはさみこみ固定します。



3. フィルターホルダーをフィルターユニットに取り付けます。



ステーション内部のクリーニング

キャリッジを動かし、インクステーションのメンテナンスをするために、２種類のキャリッジ移動があります。
クリーニング機能（取扱説明書 P.2-43 参照）を実行しても、テスト作図のカスレが直らない場合や、消耗品の交換など長期のお手入れとしてステーション内部のメンテナンスをします。

注 意

★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジは操作キーを使用して動かします。

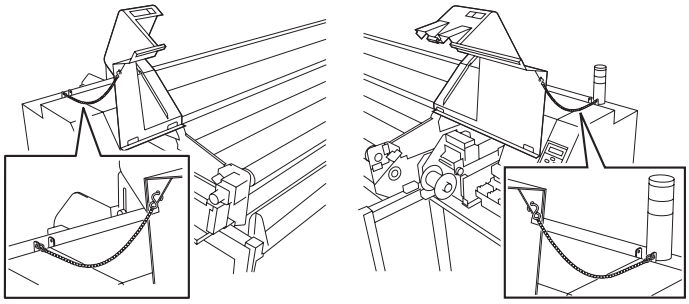
★ クリーニングの際には手袋を装着して行ってください。

ステーション内部清掃の種類		
ステーション	キャリッジアウト	ワイパ、ワイパ軸、インクキャップ周りのクリーニングをします。
	ワイパコウカン	ワイパを交換します。ワイパ交換の時期を本装置はお知らせします。ワイパ交換のメッセージを表示したら、ワイパを交換してください。
	フラッシングボックス	フラッシングボックス内の廃インクを捨てます。フラッシングボックスおよびフィルタを水洗いしてください。
キャリッジ	ヘッドの汚れ有無を確認します。 ノズル面のクリーニングをします。 キャリッジ下面クリーニングは綿棒を使って行います。	

ステーションカバーの開閉について

注意

★ ステーションカバーを開けて作業する場合、必ずチェーンを掛けてください。ステーションカバーが閉まり、思わぬケガをする原因になります。



ステーションカバーL側　　ステーションカバーR側

ワイパの定期的なお手入れ

ワイパのクリーニング

ワイパは、ヘッドクリーニングに使用しています。使用しているとインクとゴミで汚れてきます。定期的にワイパをクリーニングしてください。

注意

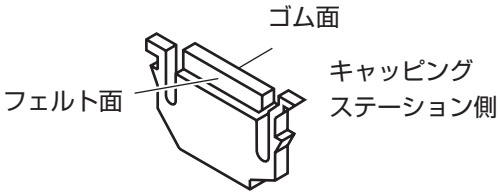
ワイパ取り扱い上のご注意

★ 新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。

★ ワイパは、２個同時にクリーニングして下さい。

★ ワイパは、前側面がフェルトで、後側面がゴムになっています。フェルト面は、綿棒でこすらないで押し当てるようにしてゴミを取り除いてください。フェルト面をこすると、毛羽だってノズル詰まりの原因になります。ゴム面は、綿棒でインクを拭き取ってください。

★ 本機能を実行するとキャリッジがキャッピングステーションから出てきます。そのままの状態で長時間放置しておくとノズル詰まりの原因になります。ワイパ交換、キャップのクリーニングが終了したら、速やかに【ENTER】キーを押してキャリッジをキャッピングステーションに戻してください。



● ワイパを２セット用意していただき、一日の出力が終了した時点でワイパ交換を行うと、作図品質も安定し、ワイパも長持ちします。

● 外したワイパは水につけておき、軽く押して、しみこんだインクを出します。洗浄後は自然乾燥させ、翌日に使用できます。

操作手順

1. ローカルモードにします。

<<ローカル>>
ハバ：１６２０mm

2. 【FUNCTION】キーを押します。

FUNCTION

FUNCTION
セッテイ　　＜ENT＞

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス] を選びます。

FUNCTION
メンテナンス　　＜ENT＞

4. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

メンテナンス
ステーション　　＜ent＞

5. [ステーション]を選択し、【ENTER】キーを押します。

ENTER

ステーション　メンテナンス
メンテ　　：キャリッジアウト

6. [キャリッジアウト]を選択し、【ENTER】キーを押します。

ENTER

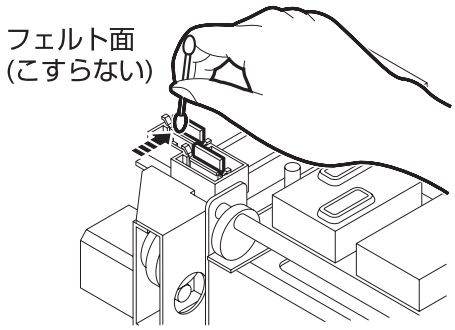
キャリッジが動いて、搬送ベルト上まで移動します。

7. ステーションカバー R を開けます。

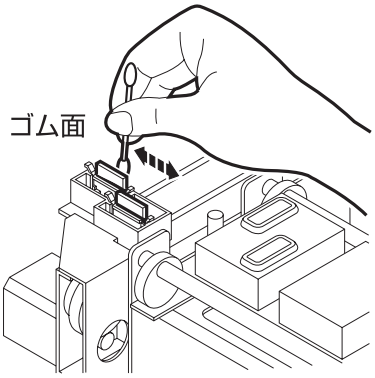
注意
★ カバーにチェーンを掛けてください。(P.11 参照)

8. キャッピングステーション内のワイパをクリーニングします。

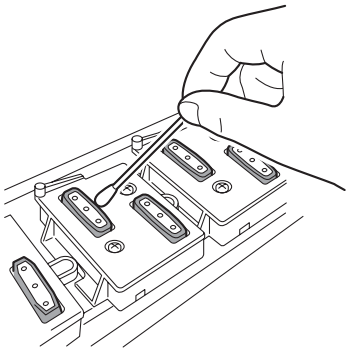
フェルト面：



ゴム面：



9. キャッピングステーション内のキャッピング周りのゴムをクリーニングします。



10. ステーションカバー R を閉めた後に、【ENTER】キーを押します。

```
ステーションメンテナンス
シュウリョウ              ：ｅｎｔ
```

```
        ショキカチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊ーーーーーーーー
```

11. 布幅検出画面に戻ります。

```
        メディアセット
ロール<                 >リーフ
```

ワイパ軸クリーニングのメッセージを表示したら[ｷｬﾘｯｼﾞｱｳﾄ]

[ワイパジククリーニング]のエラーメッセージは、ワイパ動作を一定の回数実行すると表示します。メッセージが表示された場合は、速やかにワイパ軸をクリーニングしてください。

```
ワイパ
ワイパジククリーニング
```

ワイパ軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。ワイパは、ヘッドのクリーニングを実行すると動作します。なお、クリーニングのタイプによってワイパ動作の回数が異なります。

注意

★ ワイパ交換の際もワイパ軸をクリーニングしてください。

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
   (P.12 参照)

```
FUNCTION
メンテナンス          <ENT>
```

2. 【ENTER】キーを押します。

```
メンテナンス
ステーション          <ent>
```

3. [ステーション]を選択し、【ENTER】キーを押します。

```
ステーション  メンテナンス
メンテ        :キャリッジアウト
```

4. [キャリッジアウト]を選択し、【ENTER】キーを押します。

```
ステーション  メンテナンス
メンテ        :キャリッジアウト
```

   キャリッジが動いて、搬送ベルト上まで移動します。

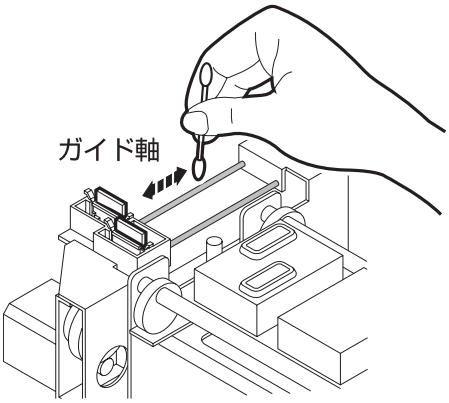
5. ステーションカバー R を開けます。

注意

★ カバーにチェーンを掛けてください。
(P.11 参照)

6. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

（汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等を水で湿らせてクリーニングします。）



注意

★ ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。

7. ステーションカバーRを閉めた後に、【ENTER】キーを押します。

ステーションメンテナンス
シュウリョウ　　：ｅｎｔ

ショキカチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊ーーーーーーーー

8. 布幅検出画面に戻ります。

メディアセット
ロール＜　　＞リーフ

ワイパ交換のメッセージを表示したら[ﾜｲﾊﾟ ｺｳｶﾝ]

ワイパは消耗品です。ヘッドクリーニングに使用しているとワイパがインクやゴミで汚れてきます。ワイパ交換の表示が出たら、速やかにワイパ交換をしてください。
同時にスライダ下面に付着したインクをクリーニングします。

● クリーニングワイパは、別売品です。お近くの販売店または弊社営業所でお求めください。

ワイパ交換のメッセージ

本装置ではワイパを使用した回数をカウントし、ワイパ交換時期をお知らせします。ワイパ交換のメッセージを表示したらワイパを交換して、スライダ下面に付着したインクをクリーニングしてください。

注 意

★ ワイパ交換のメッセージは、作図などの操作中や電源を入れた際に表示します。メッセージを表示したら、新しいワイパと交換してください。ワイパを交換しない場合は、クリーニングを実行しても吐出不良が改善されません。

ワイパ
ワイパヲコウカンシテクダサイ

★ ワイパを交換する以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。本装置内部で管理しているワイパ使用回数がリセットしてしまいます。

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
(P.12 参照)

FUNCTION
メンテナンス　　＜ENT＞

2. 【ENTER】キーを押します。

メンテナンス
ステーション　　＜ent＞

3. [ステーション]を選択して、【ENTER】キーを押します。

ステーション　メンテナンス
メンテ　　：キャリッジアウト

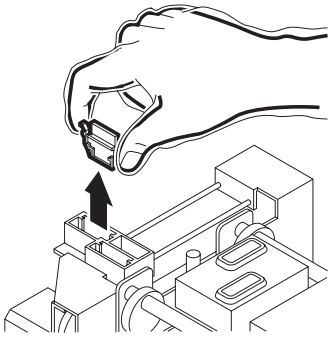
4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ワイパコウカン]を選びます。

ステーション　メンテナンス
メンテ　　：ワイパコウカン

5. 【ENTER】キーを押します。

キャリッジが動いて、搬送ベルト上まで移動します。

6. ステーションカバーＲを開けて、ワイパを交換します。

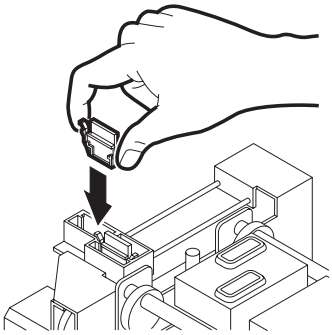


> 注意
> ★ カバーにチェーンを掛けてください。（P.11 参照）

7. 両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。

ワイパクリーニングキットに付属している手袋をすると、手が汚れません。

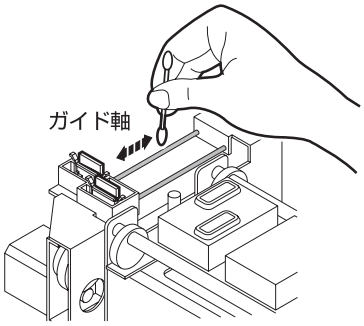
8. 両端の突起を持って新しいワイパを差し込みます。



> 注意
> ★ 新しいワイパのゴム部分には触れないでください。ノズル詰まりの原因になります。
> ★ ワイパのフェルト面が前側になるように差し込んでください。

9. ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

（汚れが落ちにくい場合は、綿棒または布等を水で湿らせてクリーニングします。）



> 注意
> ★ ワイパのガイド軸が極度に汚れていると、ワイパの動作不良によりエラーを表示する場合があります。

10. ステーションカバーＲを閉めた後に、【ENTER】キーを押します。

```
ステーションメンテナンス
シュウリョウ          ：ｅｎｔ
```

```
        ショキカチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊ーーーーーーーー
```

11. 布幅検出画面に戻ります。

```
        メディアセット
ロール<            >リーフ
```

キャリッジ下面のクリーニング

ヘッドの状態確認、キャリッジ下面のクリーニングを行います。添付の綿棒でクリーニングを行います。

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
   (P.12 参照)

```
FUNCTION
メンテナンス          <ENT>
```

2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
ステーション          <ent>
```

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[キャリッジ]を選びます。

```
メンテナンス
キャリッジ            <ent>
```

4. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
キャリッジメンテナンス
キャリッジ　アウト      :ent
```

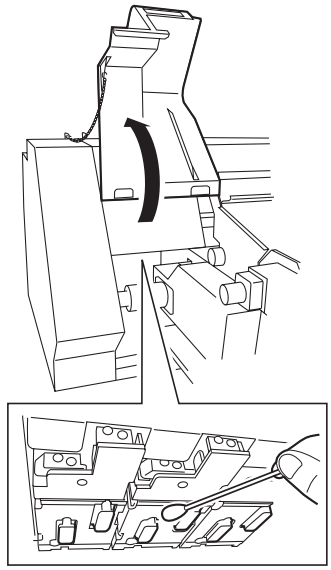
5. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

キャリッジが本装置の左側に移動します。

6. ステーションカバーLを開けます。

> ⚠ 注意
> ★ カバーにチェーンを掛けてください。
> (P.11 参照)



7. 付属の綿棒を水で濡らして、ヘッドのまわりのキャリッジ下面付着インクをクリーニングします。

> ⚠ 注意
> ★ ノズル面は絶対にこすらないでください。吐出不良の原因になります。

8. ステーションカバーLを閉めた後に、【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
キャリッジメンテナンス
シュウリョウ            :ent
```

```
        ショキカチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊－－－－－－－－
```

9. 布幅検出画面に戻ります。

```
        メディアセット
ロール<              >リーフ
```

フラッシングボックスとブロワフィルターのクリーニング

フラッシングボックスのメッセージが表示された場合は、フラッシングボックスとブロワフィルターをクリーニングまたは交換してください。一定時間経過すると、フラッシングボックスのメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合は、ブロワフィルターのクリーニングも行ってください。

```
フラッシングＢｏｘ
インクヲ　ステテクダサイ
```

● フラッシングボックスは別売品として設定しています。新しいフラッシングボックスが必要な場合、お近くの販売店または弊社営業所にお求めください。

注 意

★ フラッシングボックスをクリーニングまたは交換する以外は「フラッシングボックス」を選択しないでください。本装置内部で管理している使用回数がリセットされてしまいます。

フラッシングボックスのクリーニング

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
   (P.12 参照)

```
ＦＵＮＣＴＩＯＮ
メンテナンス　　　　＜ＥＮＴ＞
```

2. 【ENTER】キーを押します。

```
メンテナンス
ステーション　　　　＜ｅｎｔ＞
```

3. [ステーション]を選択して、【ENTER】キーを押します。

```
ステーション　メンテナンス
メンテ　　　：キャリッジアウト
```

4. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[フラッシングBox]を選びます。

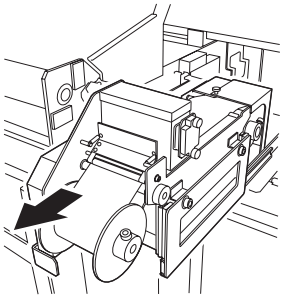
```
ステーション　メンテナンス
メンテ　　　：フラッシングＢｏｘ
```

5. 【ENTER】キーを押します。

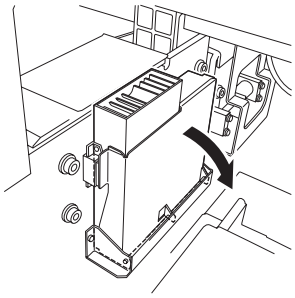
6. ステーションカバーＲをあけ、ツマミネジを外し、ANR ユニットを引き出します。

注 意

★ カバーにチェーンを掛けてください。
(P.11 参照)



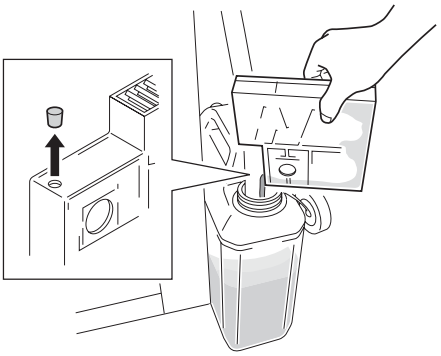
7. フラッシングボックスカバーを開け、フラッシングボックスを外します。



注意

★ フラッシングボックス内部には、インクが液状で入っています。開口部を下にしないようにして、取り外してください。

8. フラッシングボックスにたまった廃インクを、廃インクタンクに移します。



上側の栓を抜き、廃インクを移し変えてください。

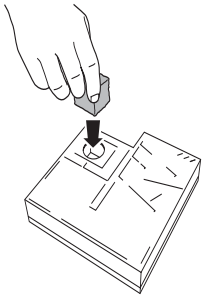
● 廃インクを移しかえた後に、フラッシングボックス本体の水洗いを行ってください。水洗い後すぐに使用する場合は、十分水分を切ってから使用してください。

注意

★ 1日以上使用しない場合は、たまった廃インクを捨てて、水洗いをかならず行ってください。

注意

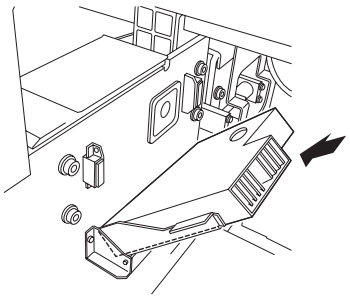
★ フィルターのインク汚れがひどい場合、廃インクを吸引する力が弱まります。ベルト押さえにインクが飛び散っているような場合には、フラッシングボックスを確認し、フィルターを水洗いしてください。



● フィルターの汚れがひどい場合

1. 汚れたフィルターを引き出し、水洗いします。
2. 洗ったフィルターを乾かします。
3. 付属の交換用フィルターをセットします。
4. 乾いたフィルターは次回交換時のために保管しておきます。

9. フラッシングボックスを本装置にセットします。



10. ANR ユニットを元に戻し、ステーションカバー R を閉めた後に、【ENTER】キーを押します。

ステーションメンテナンス
シュウリョウ　　：ｅｎｔ

ショキカチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊－－－－－－－－

11. 布幅検出画面に戻ります。

メディアセット
ロール＜　　＞リーフ

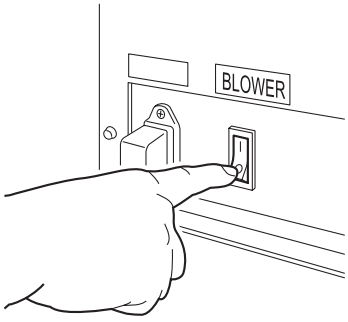
ブロワフィルターのクリーニング

本装置には、ブロワユニットが付いています。
フラッシング Box のクリーニング後、ブロワフィルターの汚れ、インク付着を確認し、水洗いまたは新しいフィルタと交換してください。

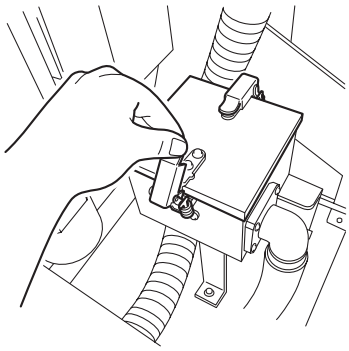
- フィルターは別売品です。フィルターを交換する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
- 水洗い後すぐに使用する場合は、十分水分を切ってから使用してください。

★ かならずゴム手袋を着用して、フィルターを交換してください。

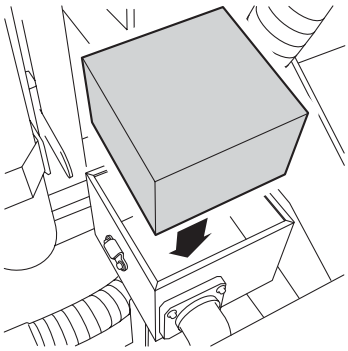
1. ブロワユニットのスイッチをオフにします。



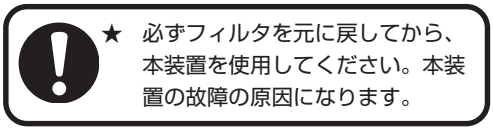
2. カバーの両サイドにあるパチン錠を外します。



3. カバーを開け、新しいブロワフィルターと交換します。



4. フィルタユニットを、元に戻します。



★ 必ずフィルタを元に戻してから、本装置を使用してください。本装置の故障の原因になります。

Y メインガイドのクリーニング[ﾒｲﾝｶﾞｲﾄﾞ]

Y メインガイドのクリーニングメッセージは、ヘッドスライダーが一定回数スキャンを実行すると表示されます。Y メインガイドが極端に汚れている場合、作図中に動作不良を引き起こし、作図が停止する場合があります。メッセージを表示した場合は、速やかに Y メインガイドをクリーニングしてください。

```
Yメインガイド
メインガイドクリーニング
```

- クリーニングには、付属のメンテナンスオイルを使用してください。オイルが無くなった場合は、お近くの販売店または弊社営業所にお求めください。
- 1～2週間に一回は Y メインガイドをクリーニングしてください。

注意

★ Y メインガイドのクリーニング以外は「メインガイド」を選択しないでください。本装置内部で管理している使用回数がリセットされてしまいます。

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
   (P.12 参照)

```
FUNCTION
メンテナンス          <ENT>
```

2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
ステーション          <ent>
```

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メインガイド]を選びます。

```
メンテナンス
メインガイド          <ent>
```

4. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

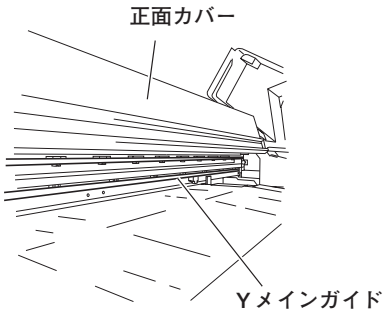
```
メインガイドメンテナンス
キャリッジアウト        :ent
```

5. 【ENTER】キーを押します。

   キャリッジが動いて、搬送ベルト上まで移動します。

ENTER

6. 正面カバー、ステーションカバー R,L を開け、Y メインガイドをクリーニングします。



7. カバーを閉めた後に、【ENTER】キーを押します。

   布幅検出画面に戻ります。

ENTER

```
メインガイドメンテナンス
シュウリョウ          :ent
```

```
ショキカチュウ
********----------
```

```
メディアセット
ロール<            >リーフ
```

ANRS チェックメディアの交換[ANRﾕﾆｯﾄ]

ANRS チェックメディアを取り付けることで、自動的にドットチェックが可能となります。チェックメディアが無くなった場合は、新しいチェックメディアと交換してください。

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
   (P.12 参照)

```
FUNCTION
メンテナンス          <ENT>
```

2. 【ENTER】キーを押します。

ENTER

```
メンテナンス
ステーション          <ent>
```

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ANR ユニット]を選びます。

```
メンテナンス
ANRユニット           <ent>
```

ENTER

4. 【ENTER】キーを押します。

```
ANRユニットメンテナンス
メンテ          :メディアコウカン
```

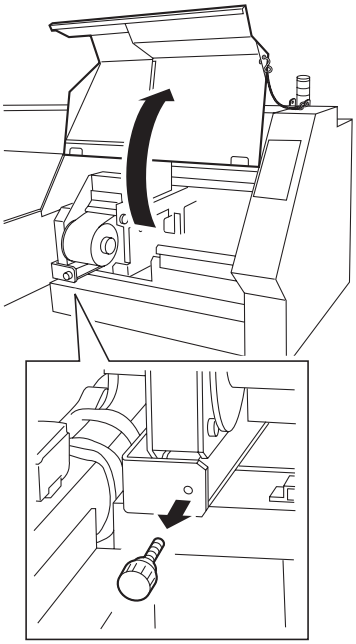
ENTER

5. [メディアコウカン] を選択し、【ENTER】キーを押します。

```
ANRユニットメンテナンス
メンテ          :メディアコウカン
```

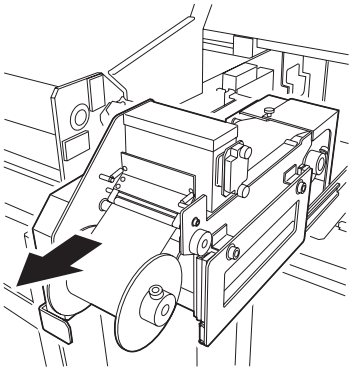
6. ANRS チェックメディアを交換します。

   a. 右側ステーションカバーを開けて、ANR ユニットのツマミネジを取り外します。

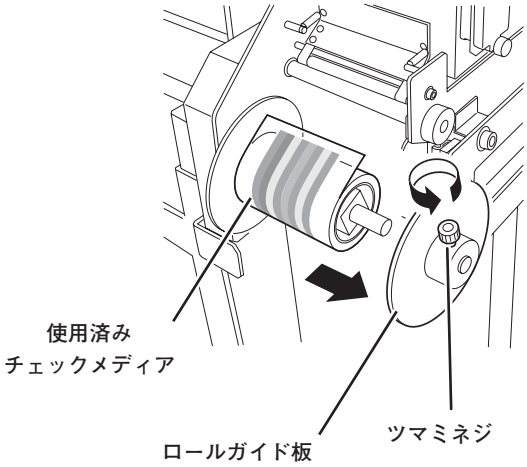


> **注意**
>
> ★ カバーにチェーンを掛けてください。(P.11 参照)
>
> ★ 弊社純正 ANR Sチェックメディア以外のメディアでは ANR ユニットの正常動作を保証できません。純正メディアを使用してください。

b. ANR ユニットを引き出します。

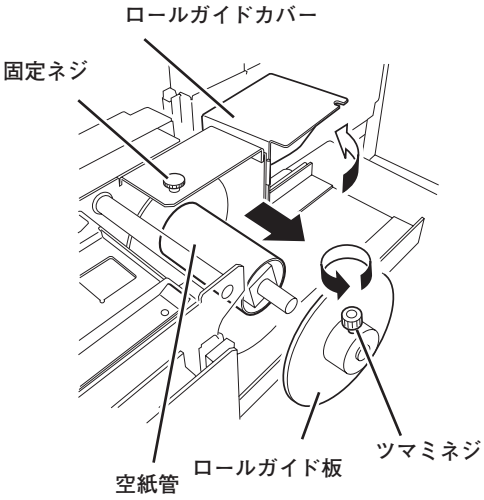


c. ツマミネジをゆるめ、ロールガイド板を外し、使用済みメディアを取りはずします。



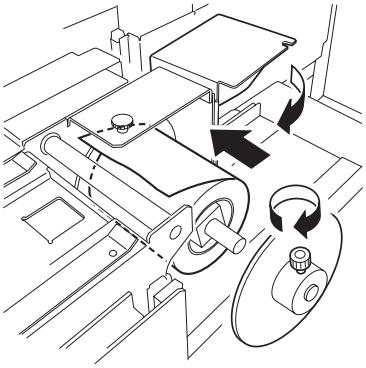
d. カバー用固定ネジをゆるめ、後部ロールガイドカバーを開けます。

e. ツマミネジをゆるめ、ロールガイド板を取りはずし、空紙管を取りはずします。



f. 新しい ANRS チェックメディアをセットします。

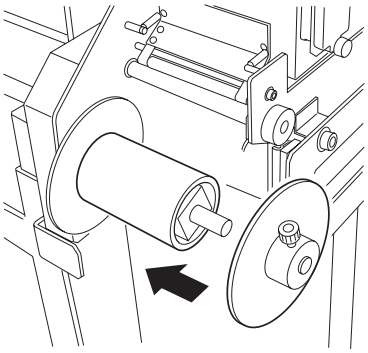
● ANRS チェックメディアは、外側がプリント面になっています。



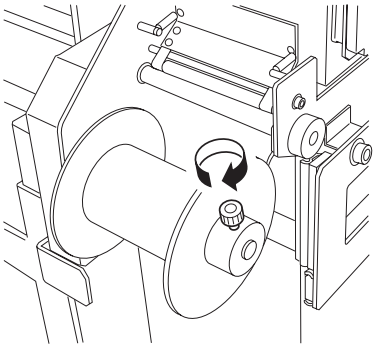
g. ロールガイド板を再度取り付け、ツマミネジをしっかり固定します。

ロールガイドカバーを閉じ、固定ネジを締めます。

h. 前部も同様に、後部から外した空紙管を取り付けます。



i. ロールガイド板を再度取り付け、ツマミネジで固定します。



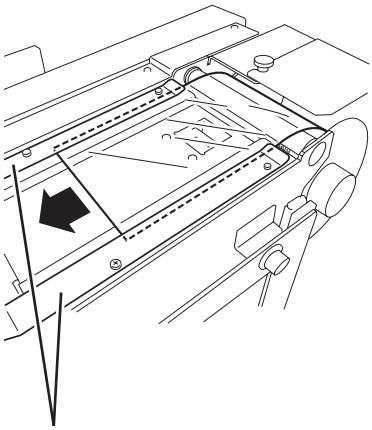
j. ANRS チェックメディア先端を引き出し、メディアガイド、ピンチローラ、駆動ローラを通し、テープなどで空紙管にメディアを固定します。

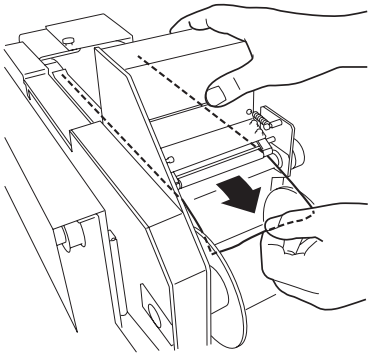
メディアプリント面フラット部にたるみ、シワのないようにセットします。

注 意

★ たるみ、シワが ある場合は再度セットしてください。ジャムが発生し、ヘッドを破損する原因となります。

★ 浮きが発生している場合は、駆動ローラーを反時計方向に回して、チェックメディアを送り出してください。





k. ANR ユニットを元の位置に戻し、ツマミネジを取り付け、チェーンを外してステーションカバーを閉めます。

7. 【ENTER】キーを押します。

ＡＮＲユニットメンテナンス
シュウリョウ　　：ｅｎｔ

8. ジョグキー【▲】【▼】を押して、取り付けたANRS チェックメディアの長さを入力します。

ＡＮＲユニットメンテナンス
ザンリョウ　　＝１００ｍ

● ANRS チェックメディア（SPC-0383）は長さが 100m となっています。

9. 【ENTER】キーを押すと、布幅検出画面に戻ります。

ショキカチュウ
＊＊＊＊＊＊＊＊－－－－－－－－

メディアセット
ロール＜　　＞リーフ

搬送ベルトのクリーニング[ﾍﾞﾙﾄｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]

搬送ベルトのクリーニングをし、その後ベルトを乾燥させます。

注 意

★ 搬送ベルトをクリーニングする前に、必ず布を搬送ベルト上から外してください。

★ 洗浄液タンクを使用している場合は、水がタンクに十分はいっているかを確認してください。

操作手順

1. メンテナンスモードにします。
(P.13 参照)

FUNCTION
メンテナンス　＜ENT＞

2. 【ENTER】キーを押します。

メンテナンス
ステーション　＜ent＞

3. ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ベルトクリーニング]を選びます。

メンテナンス
ベルトクリーニング　＜ent＞

4. 【ENTER】キーを押します。

クリダシテンションバー
ヲ　サゲテクダサイ

5. 搬送ベルト上に布がある場合は、布を外します。

6. 繰り出しテンションバーが最下部にあることを確認し、【ENTER】キーを押します。

メディアヲハズス
［ENT］ヲオシテクダサイ

7. 搬送ベルト上に布がないことを確認し、【ENTER】キーを押します。

ベルトクリーニング
タイプ　：カンソウ

8. ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニングのタイプを選択します。

［クリーニング］、［カンソウ］
ここでは［クリーニング］を選択します。

ベルトクリーニング
タイプ　：クリーニング

9. 【ENTER】キーを押します。

ベルトクリーニング
ベルトカイテンスウ　＝1

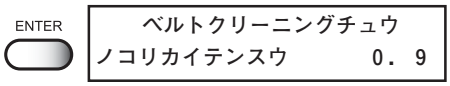
10. ジョグキー【▲】【▼】を押して、ベルトの回転数を入力します。

ベルトクリーニング
ベルトカイテンスウ　＝3

11. 【ENTER】キーを押します。

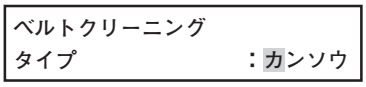
搬送ベルトのクリーニングを開始します。

残りの回転数を表示します。

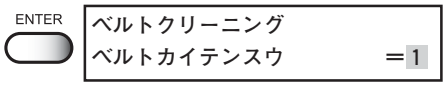


12. クリーニング終了後、搬送ベルトを乾燥させます。

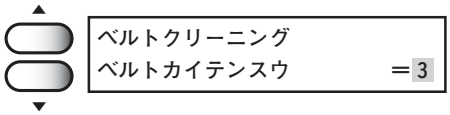
クリーニング終了後、LCD 表示は「カンソウ」になります。



13. 「カンソウ」を確認し、【ENTER】キーを押します。



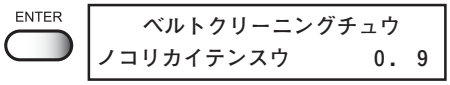
14. ジョグキー【▲】【▼】を押して、ベルトの回転数を入力します。



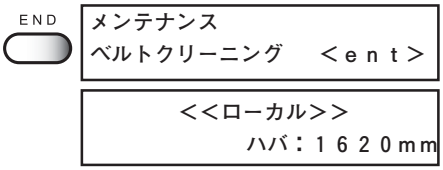
15. 【ENTER】キーを押します。

ベルト乾燥を開始します。

残りの回転数を表示します。



16. 【END】キーを２回押してローカルモードになります。



D201100-1.10-11122004
©MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.